

学校法人神奈川歯科大学 創立100周年記念式典

平成29年5月21日(日)、横須賀芸術劇場において創立100周年記念式典を挙行し、招待客や学校法人関係者ら約1,000人が100周年記念を祝いました。本学の前身は1910年東京女子歯科医学講習所として創立したのが始まりで、今年107年を迎えます。この間幾多の困難を克服し、節目の年として100周年記念式典を執り行うことができました。

式典開始前に「学校法人神奈川歯科大学100年の奇跡」と題し、歴史ビデオが上映されました。式典開始に先立ちソプラノ歌手日隈典子氏の国歌独唱の後、神奈川歯科大学櫻井孝学長による開式の挨拶、鹿島勇理事長より「本学に起こった不祥事を抜本的な大学構造改革の契機として前向きに捉え、2010年を節目とした0年からの新しき旅立ちにあたり、本学の未来を戦略的にデザインし、その実現に向けた改革を進めて参りました。本日の式典を機に更なる飛躍を目指し、医療教育機関としての責任と役割を果たして参ります。」と挨拶が述べられ、続いて元内閣総理大臣小泉純一郎氏より「人生100年時代を迎え、ものを美味しく食べる喜びは何よりも変えがたい。今後歯科大の重要性は高まることはあれ、減

る事はない。創立時の原点を忘れずに、優秀な人材を世に輩出し続け、益々発展することを願う。」、日本歯科医学会会長住友雅人氏より「歯科医学会、9万7千人を代表しお祝いさせて頂く。鹿島理事長からお誘いを受け、昨年大学を見学させて頂いた際の感動は今でも鮮明に覚えている。大学認定評価における改善点を遥かに超えた姿になり今後が非常に楽しみである」との祝辞をいただきました。最後に鹿島勇理事長による、特別講演『本学の未来構想』では、「7年間に渡る大学改革から見えてきたこと、学び得たことを一言で表現するとすれば、“財の独立なくして、学の独立はなし”の一言につきまします。時代の潮流を先読みし、戦略的に本学の未来をデザインすることの必要性を痛感しました。財政再建、教育改革、組織改革についての超短期戦略を策定し、未来化構想具現化のため、数々の成長戦略の策定とその実行を行い、現在90%以上が既に具現化でき、



元内閣総理大臣 小泉純一郎氏



鹿島勇理事長

本学の組織としての総合力を誇りに思っています。」と本法人の再生までの戦略、そして未来への成長戦略について講演しました。特別講演終了後、ソプラノ歌手松本明子氏の校歌独唱の後、神奈川歯科大学短期大学部長谷徹学長より閉式の言葉で第1部が終了しました。

第2部では、雅楽師東儀秀樹氏による記念コンサートが行われ、式典は盛会裏のうちに幕を閉じました。

記念式典終了後、メルキュールホテルにて祝賀会が盛大に開催されました。

神奈川歯科大学菅谷彰副学長の開会の挨拶には始まり、来賓の厚生労働副大臣古屋範子氏から「人間性豊かな心の通じあう医療を実践してこられたのは、皆様が立場を超えてご尽力された賜です。健康長寿を保つ上で歯科口腔保健予防医療の基礎的かつ重要な役割を担う皆様には益々のご活躍を祈念しております。」と祝辞をいただき、その後、鹿島

勇理事長らと来賓と共に鏡開きを行いました。日本私立歯科大学協会会長井出吉信氏の乾杯により祝賀会が始まり、お祝に駆けつけていただいた衆議院議員小泉進次郎氏から「数多くの鏡開きで、これほど多くの方と一緒にいる鏡開きは初めてです。盛大な式典にお招きいただき有難うございます。昨年、日野皓正さんと理事長との対談で『ジャズで横須賀の町興し』の議論で盛り上がりました。今後とも地域に身近な歯科大学としての発展を祈念しています。」と祝辞をいただきました。祝賀会後半には日本を代表する世界的ジャズ・トランペット奏者日野皓正氏による100周年を祝い素晴らしい演奏をしていただきました。最後は神奈川歯科大学榎木恵一副学長による閉会の挨拶で締めくくられ、祝賀会は盛会のうちに終了しました。



式典



祝賀会

2017 ジャカランダフェスティバル 市民感謝デーの開催

平成 29 年 6 月 11 日（日）、今年 4 回目を数えるジャカランダフェスティバルは、当日懸念された開花状況や雨の予報もどちらも杞憂に終わり、穏やかな天候の中開催しました。2 年連続でオープニングを飾るヨコハマロビンズさんの圧巻のパフォーマンスで開幕しました。今年も、本学留学生（韓国・台湾）の学生も初参加して頂き、本格的な郷土料理を販売してくれました。また、横須賀バイリンガルスクールのキッズ達によるオリジナルダンス、更にフェスティバルを賑やかに演出してくれる 15 の市民団体様の出店や、会場中心に設けられた特設ステージでは、横浜・横須賀 YMCA さんによるキッズチアダンスや、横須賀フラ協会さんによるハワイ

アンダンス等を 10 分間隔で披露し、会場の一体感や楽しさを演出してくれました。本学からは、無料企画の医療モール、フェルメールドリンク、田中歯科器械店からはスタンプラリーを用意しました。スタンプラリーは用意した 300 枚が 11 時にはなくなり、フェルメールドリンクは約 300 杯が 15 分で完売、医療モールは常に長蛇の列と、大ヒット企画となりました。

最後に、今回は明確な集客目標を設定しておりましたが、2,200 名の方にご来場いただきました。

最後に、今回は明確な集客目標を設定しておりましたが、2,200 名の方にご来場いただきました。



歯科衛生士教育の発展に寄与

この度、歯科衛生士教育の発展に寄与するため、学校法人桜丘が設置する東京歯科衛生専門学校（東京都北区）の事業を継承することとなりました。

既に平成 29 年 5 月 15 日（月）に東京パレスホテルにおいて本法人と学校法人桜丘は事業継承に関する吸収分離契約を締結し、平成 31 年 4 月より、同専門学校の事業を継承

することで合意いたしました。今後は所轄官庁である東京都へ設置者変更の届出をし、私学審議会の諮問を経て、承認を得ることになります。



横浜市立大学と連携協力に関する協定を締結

昨年（平成 28 年 12 月 9 日（金））、本学と横浜市立大学は、相互の協力及び連携に関する協定を締結しました。今後は、教育・研究・臨床の発展、地域医療の充実・地域貢献の推進、人材の育成などについて連携・協力して積極的

に推進していくこととなります。

平成 29 年 9 月 2 日（土）、市民公開シンポジウムを協定後初めて共同で開催いたします。

平成 29 年 7 月 22 日（土）～ 23 日（日） 共用試験機構 OSCE ワークショップⅡが開催

4 年次に行われる OSCE の外部評価者養成のワークショップが開催され、全国 29 大学から受講者が参加し、補綴系課題ならびに小児歯科・矯正系課題について熱心に討論がなされました。菅谷 彰副学長の開会の挨拶で、

ワークショップが開催され、神奈川歯科大学からも多くの教職員がスタッフとして協力しました。また、大野晃教先生（補綴）、浅里 仁先生、保田将史先生（小児歯科）が受講者として参加しました。

平成 28 年度決算について

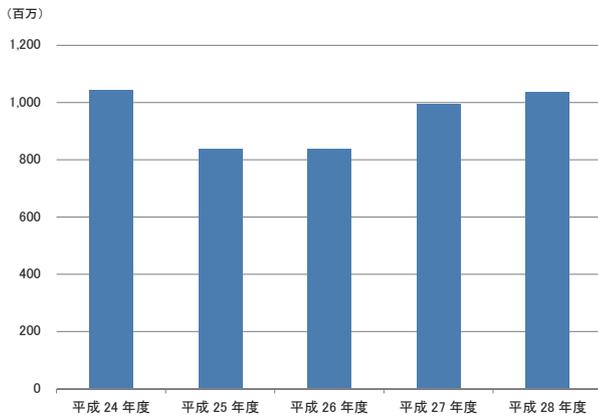
平成 28 年度決算は、平成 29 年 5 月 19 日（金）に監事の監査報告を受けて、平成 29 年 5 月 25 日（木）に理事会で議決され同日開催の評議員会で報告されました。

歯学部の新入生数増を主要因とした学生生徒等納付金の増収、及び附属病院、横浜クリニックの医療収入の増収により、教育活動収入は前年比で約 1 億 5,000 万円の増収となりました。人員増による人件費の増加に伴う支出増はありましたが、経常収支は前年並の 4 億 179 万円の黒字を計上し、平成 23 年度から引き続き 6 期連続での黒字決算となりました。

また、教育活動資金収支差額（教育研究キャッシュフロー）は平成 22 年度より 7 期連続で黒字を計上しており、財務面でも健全な経営状態を維持しております。本学の経営状態は、日本私立大学振興・共済事業団が定める「定量的な経営判断指標に基づく経営状態」の指標で測ると、正常な状態とされる A ランク（A3）に格付けされます。

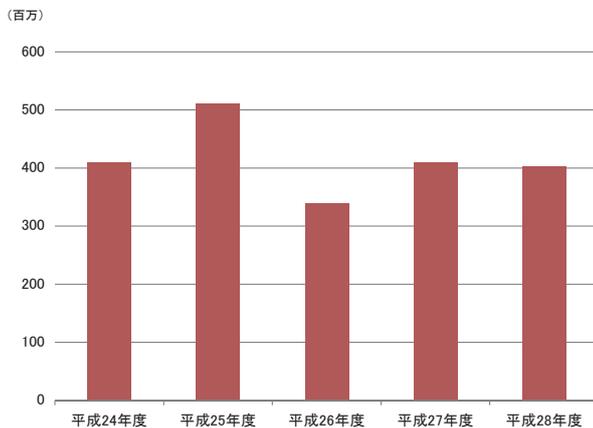
なお、神奈川歯科大学及び神奈川歯科大学短期大学部のホームページにも事業報告や詳細な財務報告を公開しておりますので、ご覧下さい。

教育活動資金収支差額（大学として体を成すための必要最低条件）



※平成 24～26 年度の数字は旧会計基準における「教育研究活動によるキャッシュフロー」を用いています。

経常収支差額（大学としての持続性を担保する経営判断指標）



※平成 24～26 年度の経常収支は、消費収支計算書を新会計基準に組み替えて算出したものです。

部	科目	予算	決算	差異	
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	3,528,100,000	3,527,752,000	348,000	
	手数料	40,030,000	34,485,925	5,544,075	
	寄付金	7,900,000	9,994,300	△ 2,094,300	
	経常費等補助金	471,940,000	472,214,928	△ 274,928	
	付随事業収入	35,440,000	52,212,972	△ 16,772,972	
	医療収入	2,725,430,000	2,760,286,739	△ 34,856,739	
	雑収入	244,100,000	279,293,583	△ 35,193,583	
	教育活動収入計	7,052,940,000	7,136,240,447	△ 83,300,447	
	事業活動支出の部	人件費	4,045,760,000	4,033,633,931	12,126,069
		教育研究経費	2,010,997,578	1,933,609,234	77,388,344
		管理経費	826,516,283	769,195,879	57,320,404
		徴収不能額等	5,000,000	460,580	4,539,420
		教育活動支出計	6,888,273,861	6,736,899,624	151,374,237
教育活動収支差額		164,666,139	399,340,823	△ 234,674,684	
教育活動外収入の部	受取利息・配当金	3,560,000	2,449,674	1,110,326	
	その他の教育活動外収入	0	0	0	
	教育活動外収入計	3,560,000	2,449,674	1,110,326	
	借入金等利息	0	0	0	
	その他の教育活動外支出	0	0	0	
	教育活動外支出計	0	0	0	
教育活動外収支差額	3,560,000	2,449,674	1,110,326		
経常収支差額	168,226,139	401,790,497	△ 233,564,358		
特別収入の部	資産売却差額	187,950,000	187,950,000	0	
	その他の特別収入	166,560,000	170,939,208	△ 4,379,208	
	施設設備寄付金	55,000,000	57,403,876	△ 2,403,876	
	現物寄付	3,870,000	5,842,332	△ 1,972,332	
	施設設備補助金	107,690,000	107,693,000	△ 3,000	
	特別収入合計	354,510,000	358,889,208	△ 4,379,208	
	資産処分差額	20,370,000	20,324,150	45,850	
	その他の特別支出合計	0	0	0	
	特別支出合計	20,370,000	20,324,150	45,850	
	特別収支差額	334,140,000	338,565,058	△ 4,425,058	
[予備費]	(48,183,861)		11,816,139		
基本金組入前当年度収支差額	490,550,000	740,355,555	△ 249,805,555		
基本金組入額合計	△ 2,040,760,000	△ 2,038,878,172	△ 1,881,828		
当年度収支差額	△ 1,550,210,000	△ 1,298,522,617	△ 251,687,383		
前年度繰越収支差額	△ 8,523,030,000	△ 8,523,033,469	3,469		
基本金取崩額	113,810,000	256,634,993	△ 142,824,993		
翌年度繰越収支差額	△ 9,959,430,000	△ 9,564,921,093	△ 394,508,907		

(参考)

事業活動収入計	7,411,010,000	7,497,579,329	△ 86,569,329
事業活動支出計	6,920,460,000	6,757,223,774	163,236,226

部	科目	予算	決算	差異	
収入の部	学生生徒等納付金収入	3,528,100,000	3,527,752,000	348,000	
	手数料収入	40,030,000	34,485,925	5,544,075	
	寄付金収入	62,900,000	67,258,176	△ 4,358,176	
	補助金収入	579,630,000	579,907,928	△ 277,928	
	資産売却収入	460,050,000	460,050,000	0	
	付随事業・収益事業収入	35,440,000	52,212,972	△ 16,772,972	
	医療収入	2,725,430,000	2,760,286,739	△ 34,856,739	
	受取利息・配当金収入	3,560,000	2,449,674	1,110,326	
	雑収入	244,100,000	278,329,183	△ 34,229,183	
	前受金収入	452,420,000	507,162,500	△ 54,742,500	
	その他の収入	1,648,010,000	1,658,312,800	△ 10,302,800	
	資金収入調整勘定	△ 965,550,000	△ 1,068,750,684	103,200,684	
	前年度繰越支払資金	3,807,810,000	3,807,811,620		
	収入の部合計	12,621,930,000	12,667,268,833	△ 45,338,833	
	支出の部	人件費支出	4,051,180,000	4,039,045,458	12,134,542
		教育研究経費支出	1,488,467,578	1,408,716,806	79,750,772
		管理経費支出	678,076,283	621,410,270	56,666,013
施設関係支出		2,090,300,000	2,084,615,680	5,684,320	
設備関係支出		146,730,000	147,461,800	△ 731,800	
資産運用支出		272,100,000	272,100,000	0	
その他の支出		1,587,200,000	1,580,352,718	6,847,282	
[予備費]		(48,183,861)		11,816,139	
資金支出調整勘定		△ 462,900,000	△ 377,010,047	△ 85,889,953	
翌年度繰越支払資金		2,758,960,000	2,890,576,148	△ 131,616,148	
支出の部合計	12,621,930,000	12,667,268,833	△ 45,338,833		

部	科目	本年度末	前年度末	増 減
資産の部	固定資産	26,786,659,452	25,247,551,502	1,539,107,950
	有形固定資産	19,896,380,671	18,350,642,404	1,545,738,267
	特定資産	6,869,943,443	6,875,354,970	△ 5,411,527
	その他の固定資産	20,335,338	21,554,128	△ 1,218,790
	流動資産	3,540,947,799	4,314,508,270	△ 773,560,471
	資産の部合計	30,327,607,251	29,562,059,772	765,547,479
負債の部	固定負債	2,223,321,778	2,217,866,093	5,455,685
	流動負債	902,303,606	882,567,367	19,736,239
	負債の部合計	3,125,625,384	3,100,433,460	25,191,924
	純資産の部			
純資産の部	第 1 号基本金	36,202,902,960	34,234,659,781	1,968,243,179
	第 3 号基本金	86,000,000	86,000,000	0
	第 4 号基本金	478,000,000	664,000,000	△ 186,000,000
	翌年度繰越収支差額	△ 9,564,921,093	△ 8,523,033,469	△ 1,041,887,624
	純資産の部合計	27,201,981,867	26,461,626,312	740,355,555
	負債及び純資産の部合計	30,327,607,251	29,562,059,772	765,547,479

全学防災訓練の実施

平成 29 年 6 月 30 日（金）の全学防災訓練は「自衛消防組織を中核とした実践型訓練の成熟を図る」を目的に、通常の倍の想定を取り入れた訓練と致しました。

教職員・学生等、約 1,300 名が参加し、横須賀中央消防署様にもご協力を賜り「火災・怪我人の発生を 6 棟に設

定「煙ハウス設置」「水消火器訓練」「AED 実技」と、内容は非常に濃いものとなりました。中でも看護学科 3 年生の 6 名が担った AED 実技は、手際良くスムーズに進行し、消防署よりお褒めの言葉を頂きました。実施に際し反省点は多々ありますが、回を重ねる毎に安否確認の時間が

大幅に短縮され、役割を持つている実感があります。教職員の意識は確実に高まっ



「臨床研究法と医学系指針改正点」講演会の開催

平成 29 年 7 月 12 日（水）17:30～19:00、2号館1階12番教室にて本間康弘専門官（厚生労働省医政局研究開発振興課再生医療等研究推進室）を招いて、臨床研究に関する倫理指針、ノバルティス社の高血圧症治療

薬ディオバンに係る臨床研究のデータ偽造などの事例、今後の臨床研究の注意点についての講演会を開催しました。受講者からは、臨床研究の具体的な方法に関して活発な質疑応答がなされました。



主催：大学院歯学研究科・歯学部FD委員会
共催：神奈川歯科大学附属病院・研究倫理審査委員会

神奈川歯科大学 第48回諸霊供養の会

第48回合同諸霊供養の会を平成29年4月15日（土）本学大講堂にて執り行いました。

当日は、櫻井孝学長、井野智院長、ご来賓として沼田芳明横須賀副市長、会員様、ご遺族様、関係者、教職員、歯学部3年生、短期大学部看護・衛生学科学学生代表ら、総勢400名の方々にご参列賜りました。

榎木恵一副学長による進行で、式典は厳かに始まりしました。井野智院長より、平成28年度にご成願された34名の方々のご芳名拝読の後、その方々を加えた献体者ご芳名帳と法医解剖・検案をさせて頂

いた200名の方々のご芳名帳を、高橋理教授と津田征郎客員教授・長谷川巖教授の手で祭壇中央に奉納致しました。

櫻井孝学長からご献体成願者1,996柱の御霊と法医解剖1,570柱の御霊に対する慰霊の言葉に続き、3年生代表葛生悠貴さんと柳川亜美さんがご献体者様とご遺族様に対する深い感謝の気持ちが込められた弔辞を読み上げました。

会場には、華麗様の美しいボーカルが奏でられ、参列者全員が献花を行い、解剖諸霊位のご冥福を祈って礼拝しました。

その後、解剖慰霊碑の3年祭を執り行い、平成29年度



合同慰霊祭は無事滞りなく終了いたしました。

新病院建築について — 進捗状況 Part IV —

平成 28 年 3 月から開始された新病院建築も、いよいよ完成間近となりました。これまで遅滞なく工事が進められており、この原稿が発行される平成 29 年 9 月 1 日（金）には、おそらく新病院とテニスコートを改修した駐車場が竣工していることと思います。これからの 2ヶ月間は、本格的な開院準備に入ります。

新病院は、「次世代の歯科総合病院」をテーマに、新たに 4 つのセンターの新設が予定されています。今回その一部をご紹介しますと、最新技術を提供する先進歯科医療センターは、新病院の 3 F に開設されます。1 つのエリアに歯周診療科・マイクロスコープ診療科・口腔インプラント科・デジタル歯科診療科・義歯診療科・無痛歯科診療科の 6 つの専門性の高い診療科が

統合し、包括的な診療を進めてまいります。また、同じフロアに開設される歯科医科連携センターは、歯科医と医師が連携し、最近注目されている口腔と関連する医科的な疾患（糖尿病・心疾患・大腸がん）を対象に、口腔ケアから全身疾患の予防に取り組みます。その他に、口腔のメンテナンスを専門に行うオーラルケアセンターや、日々の診療データの中から新しい臨床エビデンスを患者さんに提供する臨床研究センターも開設されます。

工事用の足場が取れ、新病院の全貌を改めて眺めてみると、その大きさに圧倒されるとともに、16 号側から見る新病院の姿と大学側から見る姿では、その趣が異なるのに気がつきます。これからは、2 つの顔を持つシンボリック



な建造物として、ここ横須賀の街に馴染んでいくことでしょう。

新病院への引越しは、平成 29 年 10 月 28 日（土）から、竣工式は平成 29 年 11 月 1 日

（水）、そして診療開始は 11 月 2 日（木）を予定しています。最後のラストスパート、引き続き教職員の方々のご協力を承りますよう宜しくお願い申し上げます。

訪問診療車について

平成 29 年春、神奈川歯科大学に 2 台の訪問歯科診療車が新しく納車されました。1 台はシルバーのコンパクトカー、1 台は白の軽自動車です。

現在訪問歯科診療は、全身管理高齢者歯科がおこなっています。当科の業務内容は、訪問診療、摂食嚥下リハビリテーション診療、全身管理が必要な有病高齢者の歯科治療をメインとしています。当初はスタッフも器具も十分とは言えない状態で、細々と訪問診療を開始しました。1 件目は地域の在宅医から、摂食

嚥下リハビリテーションの依頼でした。横須賀近辺は坂や石段が多く、1 件目は車を降りてから 190 段もの石段を登っていくお宅でした。大きな鞆を持って丘の上にあがっていくと、景色が開けて、緑が多く涼しくて、思いのほか清々しい気持ちになれたのを覚えています。家につくと、そこには寝たきりの老婦人

が待っていました。それから約 2 年間、決して楽ではないですが、患者さんと家族の笑顔に支えられ、訪問診療を継続しています。高齢者が外来にくるには大変な労力がある

ため、訪問診療の重要性が特に高い地域だと認識しています。今後も高齢者の臨床、教育、研究に邁進していきたいと思っています。



横浜クリニックだより

開設 15 周年を迎えて

横浜研修センターは、平成 14 年 7 月にスタートし、お陰様で 15 周年を迎え、平成 29 年 7 月 19 日（水）にシェラトンホテルで開催した「15 周年記念懇親会」の会場には、約 280 名という多数のご来場を賜りました。

当センターは、平成 18 年度以降の 11 年間で、延べ 193 名に対する卒後臨床研修医を受け入れて参りました。このうち本学以外の出身者は年々増加し、直近の 3 年間は約 6 割が本学以外の出身者で占め、全国に広く門戸を開いた研修施設へと発展しています。また、研修修了後の学会認定医育成については、日本

歯科医学会のうち 8 学会（歯周・補綴・口腔外科・矯正・小児・障害者歯科・インプラント・歯科麻酔）の研修施設として、認定を受けています。生涯学習制度への取り組みとして、オープンサテライトセミナーを毎週木曜日、昨年度は年間 43 回、延べ 1,325 人の地域医療機関を含む先生方にご参加いただきました。市民公開講座は、昨年は計 6 回・延べ 317 人の市民の方々にご参加いただきました。また、毎年 7 月は“大腸がん撲滅キャンペーン月間”として“無料の便潜血検査”を実施しています。医科部門は、眼科は北里大学のご支援を受けて学会認定施設として登録さ

れております。また、昨年 7 月、歯学部付属の医療施設としては全国でも珍しい日本麻酔科学会の施設認定を受けました。本学と横浜市立大学は“大学間連携協定”を締結しましたが、当クリニックにおいては消化器内科、耳鼻咽喉科に参与していただき、連携診療だけでなく「歯周病と非アルコール性脂肪肝、糖尿病」といったテーマで大学間

共同研究に着手し、医科歯科連携を特徴とした施設として整備されつつあります。当センター・クリニックは、今後も施設を最大限に活用し、次世代を担う“若手歯科医師の臨床研修機関”として、また“生涯研修機関”として、今後もその社会的役割を十分に認識し、使命を果たしていきたいと考えています。



オープンセミナー

高度先進口腔医学講座大学院オープンセミナー

日 程	時 間	講 師	タイトル
2017年 11月 16日（木）	18:00	吉野 文彦	歯科医療と酸化ストレス医学
2017年 12月 21日（木）	18:00	森本 佳成	循環器病学と歯科医学のエビデンス
2018年 1月 18日（木）	18:00	三辺 正人	歯周病と NASH に関する臨床研究状況と展開

歯科医師のための内科学

日 程	時 間	講 師	タイトル
2017年 9月 21日（木）	18:00	栗橋 健夫	睡眠医学講座～ヒトは何故眠るのか？（睡眠時無呼吸症候群と歯科治療）
2017年 10月 12日（木）	18:00	栗橋 健夫	脳血管障害～虚血性脳血管障害が圧倒的に多いのは？
2017年 11月 2日（木）	18:00	栗橋 健夫	腎疾患～意外に多い慢性腎臓病―投薬上の問題とは？
2018年 2月 8日（木）	18:00	栗橋 健夫	呼吸器疾患～喘息は治らない？
2018年 3月 8日（木）	18:00	栗橋 健夫	消化器疾患～歯科医療が総合消化器科のパイロット！
2018年 3月 22日（木）	18:00	栗橋 健夫	循環器疾患～虚血性心疾患と不整脈、歯科治療上の注意点

臨床咬合学

日 程	時 間	講 師	タイトル
2017年 10月 5日（木）	18:00	不鳥 健持	咀嚼器官（顎関節、咀嚼筋、靭帯）の機能解剖
2017年 11月 9日（木）	18:00	不鳥 健持	顎関節内障と治療顎位
2018年 1月 11日（木）	18:00	不鳥 健持	滑膜性関節としての顎関節
2018年 2月 1日（木）	18:00	不鳥 健持	Mandibular Animation を用いた下顎運動の理解
2018年 3月 1日（木）	18:00	不鳥 健持	下顎運動の中枢制御機構

インプラント

日 程	時 間	講 師	タイトル
2017年 9月 14日（木）	18:00	児玉 利朗	インプラントの診査診断
2017年 10月 19日（木）	18:00	児玉 利朗	インプラントの外科手術の基本
2017年 11月 30日（木）	18:00	高橋 哲（東北大学大学院教授）	インプラント外科手術のリスクマネジメント
2017年 12月 7日（木）	18:00	児玉 利朗	GBR 法・骨造成・ガイドサージェリー
2018年 1月 25日（木）	18:00	児玉 利朗	インプラント治療における合併症
2018年 2月 22日（木）	18:00	児玉 利朗	インプラント周囲のプラスチックサージェリー
2018年 3月 15日（木）	18:00	児玉 利朗	SPT の考え方とインプラント周囲炎への対応

※場所：横浜研修センター 7F

教学部だより

歯学部

平成 29 年度「特待生」表彰式

平成 29 年 4 月 24 日（月）、前年度の各学年成績優秀者 15 名が「特待生」として表彰され、櫻井孝学長より一人ひとりに賞状が手渡されました。「特待生」は、年間成績が特に優秀であった者に対し奨学金として次年度の授業料が減免される制度で、学生にとっては勉学の大きな励みとなっています。

【特待生】 2 年：西村紗稀子、林 慧、矢嶋ゆうな 3 年：葛生悠貴、細見祐太、柳川亜美 4 年：任へり、入澤貴志、小俣瑠奈 5 年：上田晴香、高碩璟、中島知佳子 6 年：石井貴和、河井甚哉、金泰潤



第 49 回全日本歯科学生総合体育大会の団結式

平成 29 年 7 月 12 日（水）、神奈川歯科大学にて第 49 回全日本歯科学生総合体育大会の団結式が行われました。教職員・学生ともに同じポロシャツに身を包み、櫻井学長からの激励の言葉をいただき、学生代表より選手宣誓により大会での活躍を誓いました。



香港大学学生来校

平成 29 年 6 月 19 日（月）から 5 日間、香港大学歯学部 5 年生 4 名が本学を訪問しました。1 年から 4 年生の各講義を見学したり、実際に実習に参加したり、附属病院や横浜クリニックを見学したりしました。また本学でどのよう

な研究が行われているかを知ってもらうために各研究室を回り説明を受けました。歯学部在籍学生とも一緒に食事を取りながら英語や中国語を使って交流し、お互いの歯科事情や大学での教育事情などを話しました。学生たちも国際的な視点を持つことが出来たととても有意義な時間となりました。



平成 29 年度

第 1 回授業参観・学年別懇談会

平成 29 年 6 月 8 日（木）、神奈川歯科大学にて第 1 回授業参観・学年別懇談会が開催され、約 137 組の保護者の皆様にご出席いただきました。午前は各学年の講義を見学していただき、午後の全体説明会では櫻井学長や教学部教務担当部長・学生担当部長よりご挨拶・カリキュラムについての説明がありました。その後、学年別懇談会が行われ、各学年主任・担任の紹介、授業や学生のサポート体制について詳しく説明がありました。



短期大学部

高雄医学大学からの訪問

平成 29 年 7 月 3 日（月）から 7 日（金）までの 5 日間、台湾の高雄医学大学口腔保健学科の教員と学生 3 名が短期大学部を訪問されました。期間中、日本の歯科衛生士についての講義、歯科衛生学科の介護技術実習、スケーリング実習、材料取扱い実習に参加、実習先である高齢者・障害者施設の訪問、資料館・横浜クリニック・附属病院の見学など行いました。また、短期大学部学生、歯学部

留学生と交流し、興味や関心を持っていること、日々の勉強のことなどを話して、お互いの理解を深める意義のある時間を過ごしました。



平成 28 年度成績優秀者表彰

平成 29 年 4 月 24 日（月）平成 28 年度各学科学年の成績優秀者 4 名が表彰されました。

【歯科衛生学科】 2 年：赤木奈々、3 年：平本理恵

【看護学科】 2 年：小原友華、3 年：今野茜里



平成 29 年度

保護者会総会・懇親会開催

平成 29 年 6 月 7 日（水）15 時より、本学学生食堂横須賀ハーバーにて、平成 29 年度 保護者会総会が開催さ

れました。出席した一般保護者、役員、教員の前で、平成 28 年度中野智美会長（看護学科）から中原美雪会長（歯科衛生学科）にバトンタッチされ、報告事項と新年度活動計画案が承認されました。その後の懇親会は長谷学長より挨拶を頂き、短期大学部の近況が報告されました。授業や実習を終えた教員が 27 名加わり、お弁当を頂きながら、学生の日ごろの様子を情報共有して貴重な時間を過ごすことができました。

大学院ニュース

近年、大学院教育では課程制大学院制度を導入し、教育力の充実による学位の質の保証が求められています。そこで、平成29年6月25日(日)丸合教員を対象に横須賀キャンパス多目的室において、学位審査体制に関する問題点とデイプロマポリシーに基づく学位審査基準という2つのテーマでFD研修会が開

催されました。大学院は4月より歯学専攻として新たな専攻になり、今回は初めのFDとなりました。

学位審査体制については、これまで大きく改革を進めており、これまでの改革の問題点を特に議論し、中間発表や公聴会の時期、主査・副査の審査や指導のあり方、評価者制度の充実など、活発な議論

が行われました。また、デイプロマポリシーに基づく学位審査基準では、デイプロマポリシーの再認識が行われ改めて身につけさせるべき能力の目標を確認しました。さらに、学位審査基準とデイプロ

マポリシーの整合性や、ルーブリックによる評価法の検討が行われました。今後、今回のFDを参考として新たな学位審査基準を作成していく予定です。



【歯学部】オープンキャンパス開催日程

日程	内容	申込フォーム
2017年11月19日(日)	学校説明・入試説明/入学ヒストリー/入試対策講座(模擬講義)/施設見学/学食体験/個別相談/先輩と話そう!	

※全日13:00~16:00【事前予約制】
※詳細はHP、スマホサイトでご確認ください

【短期大学部】オープンキャンパス開催日程

日程	内容
2017年9月9日(土)	体験授業/学内見学/学科説明/個別相談/入試説明/先輩と話そう!
2018年2月13日(火)	
2018年3月18日(日)	

※全日13:00~16:00【事前予約制】
※詳細はHP、スマホサイトでご確認ください

【短期大学部】ミニオープンキャンパス開催日程

日程	内容	申込フォーム
2017年11月19日(日)	施設見学/個別相談	
2017年12月17日(日)		

※全日13:00~16:00【事前予約制】
※詳細はHP、スマホサイトでご確認ください

歯学部 2018年度 入学試験実施一覧

歯学部 定員:110名 男女		
試験区分	試験日	合格発表
AO入試	2017年9月3日(日)	2017年9月6日(水)
推薦1期(公募制・指定校制)	2017年11月12日(日)	2017年11月15日(水)
卒業生子女1期		
帰国子女1期		
外国人留学生1期		
編入1期	2017年12月10日(日)	2017年12月13日(水)
推薦2期(公募制・指定校制)		
卒業生子女2期		
帰国子女2期		
外国人留学生2期	2018年1月27日(土) 1月28日(日)	2018年2月1日(木)
編入2期		
一般1期	2018年1月27日(土) 1月28日(日)	成績開示後に行います。
大学入試センター試験利用1期		
一般2期	2018年2月18日(日)	2018年2月21日(水)
大学入試センター試験利用2期		
一般3期	2018年3月11日(日)	2018年3月14日(水)
編入3期		

※詳細はホームページをご覧ください

短期大学部 2018年度 入学試験実施一覧

歯科衛生学科 定員:120名 男女		
試験区分	試験日	合格発表
AO2期	2017年9月24日(日)	2017年10月11日(水)
推薦I期(指定校・公募)	2017年10月29日(日)	2017年11月1日(水)
社会人		
推薦II期(指定校・公募)	2017年12月10日(日)	2017年12月13日(水)
一般	2018年1月28日(日)	2018年1月31日(水)
特待生		
AO3期	個別にお知らせいたします。	

※詳細はホームページをご覧ください

看護学科 定員:80名 男女		
試験区分	試験日	合格発表
AO1期	2017年9月24日(日)	2017年10月11日(水)
推薦I期(指定校・公募)	2017年10月29日(日)	2017年11月1日(水)
社会人		
推薦II期(指定校・公募)	2017年12月10日(日)	2017年12月13日(水)
一般	2018年1月28日(日)	2018年1月31日(水)
特待生		
AO2期	2018年3月4日(日)	2018年3月13日(火)

大学グッズ販売開始

大学のロゴが入ったポロシャツとパーカーの販売を始めました。1号館1階田中歯科器械店で販売しています。

- ポロシャツ 1,925円(税込)
- パーカー 4,500円(税込)





第53回 稲岡祭

2017年11月4日(土)